

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

市販外用薬の誤飲 (No.82 一般用医薬品 (外用薬) に含まれているカンフル (樟脳) の誤飲による中毒の類似事例 1)

事例	基本情報	年齢：1歳 0か月 性別：男児 体重：11.4kg 身長：78.5cm
	家族構成	父、母、本児
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		薬物誤飲
医療費		入院 11,680円 外来 2,900円
原因対象	対象名称	市販外用薬、鼻づまり改善薬 (チューブに入ったクリーム, 内容量 50g カンフル入り)
	入手経路 使用状況	1週間前に購入し毎日使用していた。発生当日には半分程度になっていた。
発生状況	発生場所	自宅の寝室
	周囲の人 周囲の環境	母と本児のみ
	発生年月日	2021年2月X日 (火) 午後 9時 30分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	母が本児の背中にチューブの中のクリームを塗り、次に胸に塗ろうとして、母は自分の指に1~2cmクリームをとった。その後、母は一旦ふたを軽く閉めて床に置いた。チューブの置き場所は、本児のすぐ横であった。母が本児の胸にクリームを塗り終わって、自分の指を拭こうとしていたら、チューブを持って口に含んでいる本児に気づいた。口の周りやチューブにもクリームがべったりついていて、本児の顔は真っ赤になり、口唇チアノーゼが出現したため、母が児を連れて医療機関に向かった。病院へ向かう途中、本児は嘔気を伴っていたが、嘔吐はしなかった。容器込みの残りの重さは38gであり、元々半分程度使用済だったことを考えると、口に含んだのは多くても5g程度と思われた。母の話では、フタが壊れていたわけではなく、閉め方が不十分であったとのことだった。
医療機関受診時以降の 治療経過 転帰		午後10時10分に医療機関を受診。受診時は活気良好で、顔色や全身状態に問題なく、意識も清明であった。バイタルサインはSpO <sub>2</sub> 98%、HR 108回/分 BP 98/52mmHg 体温 37.2度であった。経過観察目的に入院となったが、特に異常なく翌日退院した。